

『ふるさと甚目寺「かかわる」「つたえる」「つながる」
—人権教育を柱としたE S Dの取り組み—』

あま市立甚目寺小学校

1 目的

甚目寺小学校では、学校教育目標「善く生きる子」にせまるために、平成22年度からE S Dを取り入れた教育活動に取り組んでいます。本校では、E S Dを持続可能な社会を築くための人づくりととらえ、人権教育の基本とされる「自他の人権を尊重する意識を磨くこと」「コミュニケーションの能力を高めること」「自己肯定感を高めること」という要素を盛り込み、『ふるさと甚目寺 —「かかわる」「つたえる」「つながる」—』をテーマに、人と人とのつながり、人と地域とのつながりを大切に教育活動を進めています。



【幼稚園児・保護者を招いた
1年生の総合学習発表会の様子】

2 内容

(1) 人とつながる活動

ア 人間関係づくりのための体験的活動

人とのつながりを深めるため、異学年・ペア学年を中心とした交流活動を行っています。また、自分の気持ちの伝え方を学び、人と接する態度の向上を図るためのハッピートークトレーニング、自分の意見や気持ちをその場にふさわしい表現でし、相手との良好な関係を築くためのアサーショントレーニングに取り組んでいます。このような取組により、自尊感情が高まったり、相手のことを思いやった表現ができたりする、自分も相手も大切にすることができる子どもたちを育てています。また、Q U調査を実施し、子どもの学校生活の様子を確認し教育相談に役立てています。

イ 甚小まつりの活動

甚小まつりは、本校で20年以上続いており、子どもたちが楽しみにしている行事の一つです。学級ごとにお店を出し、全校でふれあいながら楽しくお店をめぐっています。保護者の方もたくさん参加され、子どもたちは、多くの人とふれあい、交流を深めることができました。

ウ エコキャップアート活動

児童会でペットボトルキャップとアルミ缶回収運動を行っています。その集めたペットボトルキャップを使って、各学年目標をもとにした学年オリジナルマークデザインを募集し、各学年でキャップアートを制作しています。学年目標についてみんなで考えるよい機会になっています。

エ 心を育てる活動

11月に、児童文学「波の会」のみなさんをお迎えして、ストーリーテリングをしていただきました。この活動は甚小ブックママさんと連携して行っており、学年に応じたお話を厳選し、語りかけていただいています。お話の世界に引き込まれ、豊かな時間を過ごすことができました。

(2) 地域とつながる活動（総合学習）

甚目寺小学校では、総合的な学習の時間を中心に各教科・道徳・特別活動などに関連づけながら、地域を舞台に学習を進めています。各学年、地域の様々な方と交流し、出前授業を受けたり、学んだことを発信したりする活動を行っています。

11月には学習のまとめとして、「総合学習発表会」を開催し、学んだことを地域の方や家族に発表しました。どの学年も自分たちの思いが伝わるように工夫し、充実した発表会となりました。

(3) 世界とつながる活動

ア エコキャップ運動

ペットボトルのキャップを集め、リサイクルすることにより、発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る運動に参加しています。児童会を中心に活動を進めています。

イ 世界寺子屋運動

ユネスコスクールへの加盟を機に、ユネスコが進めている世界寺子屋運動に参加しています。みんなに世界の現状を知らせたり、書き損じはがき等や募金を集めて協会へ贈り、教育施設の建設や運営に役立てたりしています。

ウ ユネスコスクールの交流

一昨年度から岐阜県養老町の広幡小学校との交流を行っています。他校の取組を知ることで、地域を見直したり今後の活動に見通しをもったりする機会になりました。

エ ユニクロ 服のカプロジェクトへの参加

広幡小学校の取組に刺激を受けて本年度始めたプロジェクトです。着なくなった子ども服を回収して、難民の方々など世界中で服を本当に必要としている人々に届ける活動で、ユニクロの出前授業後、児童会が全校に呼びかけ、段ボール15箱分の古着が集まりました。この活動を通じて、子どもたちが国際問題や環境問題に関心をもつだけでなく、服のチカラを知り、自分にもできる社会貢献があると気づくきっかけになりました。



【ユニクロ「服のカプロジェクト」出前授業】

(4) 環境整備

タマムシなど、多種多様な生き物が見られる豊かな自然環境を維持し、さらによりよくしていくために、花壇やグリーンカーテンなどの環境整備を行いました。今年からグリーンカーを沖縄朝顔に一新し、朝昼で色が変わるきれいな花を長く楽しむことができました。

3 評価

- (1) 出前授業や見学・体験活動といった本物を体験させる機会を多くすることによって、子どもたちはすばらしい発見や気づきをします。この発見や気づきは、学習する対象への興味・関心をさらに高め、自ら学んだり行動したりする子どもたちが増えてきました。
- (2) 人の「思い」を大切にし、地域に関した様々な取組をすることにより、人と人とのつながり、人と地域とのつながりを意識するようになり、地域への愛着が深まってきました。また、地域のもつ課題についても目を向ける児童が育ってきました。

4 課題

新学習指導要領で求められる子どもたちを育てるために、本校のE S Dを核とした教育活動は、まさに最適であると考え、今後も内容の見直しを図りながらさらに充実したものにしていきます。子どもたちが、多くの方に支えられながら育っていることを意識し、自らも地域のために、さらには社会のために行動することができる大人へと成長することができるよう教育活動を進めていきます。

また、本校の取組を保護者や地域に発信して学校支援ボランティアを募り、さらに地域と学校のつながりを深めていきます。